

広島県フロラ覚書 (10) ツクシタンポポの新産地

井上尚子¹⁾・白川勝信²⁾・山本昌生¹⁾

Memoranda for the Flora of Hiroshima Prefecture (10) New locality of *Taraxacum kiushianum* H. Koidz.

Naoko Inoue¹⁾・Katsunobu Shirakawa²⁾ and Masao Yamamoto¹⁾

Summary

Taraxacum kiushianum was newly recorded from Chugoku Mountains including Hiroshima Prefecture.

Keywords : flora, Hiroshima Prefecture, Chugoku Mountains, new locality, *Taraxacum kiushianum*

はじめに

広島県に分布するタンポポとしては、2014年まではシロバナタンポポ *Taraxacum albidum* Dahlst., カンサイタンポポ *T. japonicum* Koidz., キビシロタンポポ *T. hideoi* Nakai ex H.Koidz., クシバタンポポ *T. pectinatum* Kitam., ヤマザトタンポポ *T. arakii* Kitam., セイヨウタンポポ *T. officinale* Weber ex F.H.Wigg., アカミタンポポ *T. laevigatum* (Willd.) DC., 在来種と外来種の雑種の8種が知られていた(広島大学理学部附属宮島自然植物実験所・比婆科学教育振興会(編)1997, 世羅ほか2010, 浜田2011). その後2014年から2015年にかけて市民と研究者が合同で西日本のタンポポを調査し, 工事に伴う帰化種と思われるトウカイタンポポ *T. platycarpum* Dahlst. var. *longeappendiculatum* (Nakai) Morita とモウコタンポポ *T. mongolicum* Hand.-Mazz. が確認され, 計10種が記録された(タンポポ調査・西日本実行委員会編2016).

2018年に広島県産のタンポポとして新たにツクシタンポポ *T. kiushianum* H. Koidz. を確認したので報告する.

経緯

著者の一人, 白川は, 2009年頃, 広島県山県郡北広島町奥原で今まで見たことがない変わったタンポポが咲いているのに気がついたが, 当時普及していた植物図鑑では西日本に分布するタンポポの掲載種数が少ない(佐竹ほか(編)1981, 牧野著・大橋ほか(編)2008), 希産種について説明が少ない(北村ほか1975), 写真や図の補足説明がなく分かりにくい(大井著・北川改訂1983)などの理由で同定することが難しかった.

著者の一人, 山本は, 2014年6月6日, 広島県北広島町長者原で見慣れないタンポポを見つけ(図1), 頭花と種子を採集し, タンポポ調査・西日本2015事務局に同定を依頼した. タンポポ調査・西日本2015事務局は, これを「ヤマザトタンポポ」と同定した.

井上は山本から当該タンポポの種子を預かり, 2014年8月18日に播種した. 生育した苗の初開花は2015年から2017年の間であったが, この間は開花日を調査しておらず記録がない. 2016年には

* Contribution from the Hiroshima Botanical Garden No.109

1) 広島市植物公園, 2) 芸北 高原の自然館

Bulletin of the Hiroshima Botanical Garden No.34:41-48, 2019.